

## 教育目標

# 自ら学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子

飯小は、この教育目標を理念に、「共に育ち、共に生きる 地域の学校」を目指します。

## 学校だより

### 上越市立飯小学校

明治9年8月17日開学

第13号 R3. 3. 25



## はなむけの言葉 (第129回 卒業証書授与式 式辞より抜粋)

えがお学年の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんの門出を心から祝福します。

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策や大雪による臨時休業がたくさんあり、各種行事の延期・変更・中止が相次ぎました。マスク・手洗い・消毒が当たり前の日々、換気をしつつ、人と人との距離を意識するなど「新しい生活様式」での学校生活となりました。

実施できなかった行事があるのは残念ですが、辛抱して取り組まなかったことは、命と健康を守るための尊い行為です。このような取組をした年の最高学年であった皆さんのことを私は誇りに思います。皆さんは飯小学校のリーダーとして、たくさんの人にやる気と元気と優しい心を与えてくれました。心から感謝しています。ありがとう。

実施できた大きな行事と言えば、修学旅行と運動会です。縮小・変更する部分もありましたが、皆さんが大活躍する姿を近くでよく見せてもらいました。ただ、それよりも印象に残っているのは、登校班やかがやき班の活動で見た日常の皆さんの姿です。いつも優しいえがおで下級生と関わっていました。今日は、この会場に、5年生きらめき学年が出席していますが、たいよう、にじ、あおぞら、ほしの皆さんと先生方がリモートで参加しています。

私は、この学校で取り組んでいる「一人一人のかがやきづくり」は「一人一人の幸せづくり」につながっていると信じています。皆さんにとっての「幸せ」とは何ですか。幸せとは、お花畑のような空想の世界や南の島で優雅に過ごす夢の世界の話ではありません。また、お金があれば、健康であれば、美人であればといった条件があれば…という話でもありません。このような条件があったとしても、幸せの度合いにほとんど影響しないことが分かっています。

では、「幸せ」に大きく影響することとは何でしょうか。大切なのは、「幸せ」を感じる心を持っているか、ということです。私たちの周りには、小さな幸せがたくさんあります。その幸せに気付く人は、現在の幸せを十分に感じるのですが、気付かない人は、その幸せを失ったときに、初めて幸せだった過去に気付くことになります。そして、現在の幸せには、やはり気付くことができないのです。

皆さんに、幸せを感じるための5つの柱を紹介するとともに、幸せに気付くヒントとなる質問を試みたいと思います。

1つめの柱は、「喜び」「感謝」「安らぎ」「愉快」「愛」「希望」などのポジティブな感情をもつことです。では質問です。今、あなたが感謝できることは何ですか。

2つめは、没頭、没入するなど、夢中になれる体験をすることです。今、あなたが夢中になれることは何ですか。または、これから集中して取り組みたいことは何ですか。

3つめは、親密な人たちとの関係を大切にすることです。あなたにとって大切な人、あなたを大切にしてくれている人は誰ですか。

4つめは、人生に意味や意義、目的を見出して行動することです。これからの人生で、あなたが大切にしていきたいことは何ですか。

5つめは、やり遂げることや何かを練習してできるようになっていくことです。あなたが今、達成したいことは何ですか。

幸せに気づき、その喜びを感じる…という難しいことを簡単にできる方法があるのです。さらに、自分だけでなく相手も幸せにします。それが、何であるか、皆さんはよく知っていますね。

答えは、笑顔です。幸せは「えがお」の中にあります。そして、笑顔は周りの人にも伝わり、幸せを多くの人に広げることができます。マスクで笑顔が隠れるコロナ禍においても、みんなを幸せにした「えがお」学年のかがやく笑顔は、これからも多くの人を幸せにしていくことでしょう。

自信をもって、誇りをもって、中学校に進学してください。

## お世話になりました。 7名の職員が転出することになりました。

<b>田邊 道行 (校長)</b> 上越市教育委員会へ	青天の霹靂です。1年で転出することになってしまいました。今年度、取り組めなかったことを、来年度に…と考えていましたが、それが叶わず、残念でなりません。今年度挑戦した様々な新しい取組に御理解と御協力を賜り、心から感謝申し上げます。
<b>早川 尚美 (教諭)</b> 上越市立直江津南小学校へ	保護者の皆様、地域の皆様に温かく支えていただき、5年間を楽しく過ごすことができました。子どもたち一人一人のかがやく場面を皆様と共に共有できたことは、私にとって本当に幸せでした。大変お世話になりました。
<b>安生 留衣 (教諭)</b> 上越市立大町小学校へ	笑顔あふれる子どもたちと過ごした6年間は、私の宝物です。地域に出ると、いつも温かく声をかけていただき、子どもたちが地域の中で大切に育てられていることを実感していました。保護者の皆様、地域の皆様、本当にありがとうございました。
<b>小林 楓花 (教諭)</b> 糸魚川市立青海小学校へ	3年間、保護者の皆様や地域の皆様に支えられ、大変お世話になりました。飯の子どもたちの「いいところ」をたくさん発見でき、私にとっても学びの多い3年間でした。これからも飯地域、全校の子どもたちのかがやきを心から願っています。ありがとうございました。
<b>村山 瑞生 (講師)</b> 上越市立宝田小学校へ	2年間という短い間でしたが、元気いっぱい2年生と一緒に勉強し、楽しい日々を過ごすことができました。友達にだけでなく誰に対しても優しく接してくれて心が温かくなったこと忘れません。ありがとうございました。
<b>佐藤 史都 (教育補助員)</b> 上越市立直江津南小学校へ	コロナ禍で制限がある中でも毎日元気いっぱいに活動する子どもたちに励まされながら過ごしてきたあつという間の1年でした。短い間でしたが飯小学校の子どもたちと過ごすことができ楽しかったです。今までありがとうございました。
<b>稲葉 美都 (介護員)</b> 上越市立富岡小学校へ	飯小学校の最初の印象はドリームパーク、あじさい広場があって自然豊かな素敵な小学校だということです。そんな環境で過ごしている子どもたちは、素直で元気いっぱいで、私自身もたくさんの元気をもらいました。4年間ありがとうございました。

